



平成23年12月21日

各 位

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社
代表者 代表取締役社長 岡野 正敏
(コード番号 6492)
問合せ先責任者 取締役管理統轄部長 齋藤 浩寛
(TEL 093-372-9214)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年12月21日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年6月22日に公表した平成23年11月期(平成22年12月1日～平成23年11月30日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,170	670	790	240	13.42
今回修正予想(B)	10,195	800	940	380	21.26
増減額(B-A)	25	130	150	140	
増減率(%)	0.2	19.4	19.0	58.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	12,649	1,579	1,729	1,018	56.95

平成23年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,170	630	740	270	15.10
今回修正予想(B)	10,193	690	810	360	20.14
増減額(B-A)	23	60	70	90	
増減率(%)	0.2	9.5	9.5	33.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	12,647	1,480	1,625	954	53.40

修正の理由

福島第一原子力発電所の原子力事故により、当社グループはバルブ事業、メンテナンス事業ともに当該事故に起因した様々な影響を受けることとなり、平成23年6月22日に業績予想数値を下方修正いたしました。現状におきましても、定期検査で順次停止した各原子力発電所の再稼働問題や新規建設計画の見直しをはじめ、引き続き円高による海外向けバルブ販売の低迷もあり、当社グループにとって非常に厳しい事業環境となっております。

このような状況の下、バルブ事業につきましては、大間原子力発電所や新規火力発電所向けのバルブ販売を中心に、弁や部品の取替え、付加価値の高い短納期品の販売等に努めました結果、震災による納入の一時停止など混乱はあったものの、売上高は修正時に見込んだ予想を若干上回ることとなりました。

メンテナンス事業におきましては、震災以降は各原子力発電所の定期検査工事が計画どおり実施されず厳しい状況を強いられましたが、復興関連工事や火力プラント向け工事に鋭意取り組んでまいりました。また、期後半には大型案件である敦賀原子力発電所メンテナンス工事のほか、柏崎刈羽原子力発電所1号機および7号機の定期検査工事が売上計上されたこともあり、期初の定期検査工事の売上と合せて概ね計画どおりに推移いたしました。

損益面につきましては、避難区域となった福島第一事業所および福島第二事業所の事業機能が停止したことに伴い4月に福島県いわき市に福島事業所を開設しましたが、現地の事業規模が大幅に縮小したため全社的な要員配置の見直しを余儀なくされたほか、現地従業員の避難を含めた異動費用などの諸経費が発生いたしました。

このような中で組織のスリム化や諸制度の見直し、作業効率の向上など各種コストダウンを推進した結果、震災による特別損失が6月の修正発表時に見込んだ数値を下回ることとなり、また、大型案件の敦賀原子力発電所メンテナンス工事の利益率が順調に推移したこともありまして、平成23年6月22日に公表した通期予想を利益面において上回る見込みとなりましたので、業績予想を修正するものであります。

なお、業績予想の修正による期末配当予想の修正はございません。

以 上